



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年10月23日朝刊

台風15号 1カ月の災害ごみ片付け 今も

静岡市 仮置き場解消「年度内に」



台風15号から1カ月たった今も市民が災害ごみを運び込む清水第2仮置き場＝20日、静岡市清水区大内新田

戸別回収も可能

市は14～18日、名古屋、横浜 発災直後に公園や歩道上に積浜、富士、沼津など県内外12 市街地からのごみ回収者宅から災害ごみを戸別回収する「ローラー作戦」を実施。ごみ減量推進課の三木秀明課

台風15号から23日で1カ月を迎えたが、住宅など約3800棟に床上浸水の被害があった静岡市では、2万トンと推計される災害ごみの処理が長期化しそうだ。住宅地の公園など約60カ所に設けられた臨時集積所は13日までに全て解消されたものの、運び手がない高齢者などにはまだごみの片付けが終わっていない家庭もある。清水区の2カ所に設けられた大規模仮置き場には今も連日、ごみが運び込まれていて、市は「年度内に解消できれば」と辛慮している。

長は説明する。一方、JR清水駅東口のENEOS（エネオス）清水油槽所遊休地と清水区大内新田の市有地に、それぞれ1万4千～1万5千平方メートルを確保した大規模仮置き場では、市民のごみの受け入れを続けている。「まだごみが手つかずの世帯が1割ほどある」といった地域の声も聞く。受け入れは必要と三木課長は話す。自分で運搬が難しい市民は電話などで市収集業務課に連絡すれば、市が戸別回収に向く。それを知らずに対応に困っている市民もいるとみられる。さらに周知を図る方針だ。災害ごみは冷蔵庫、洗濯機などの家電製品や布団、畳、木製家具類、不燃物などで、分別した上で焼却施設やリサイクル業者に運搬し、処理されている。市によると、19日現在で処理済みのごみは1917トンで、推計2万トンの全体量の一部にとどまっている。（社会部・瀬島義孝）

①記事の「災害ごみ」が出たのは何が原因ですか。

(**台風15号(による床上浸水)**)

②「災害ごみ」には、どのようなものがありますか。

(**冷蔵庫、洗濯機などの家電製品や布団、畳、木製家具類、不燃物など。**)

③「災害ごみ」はどのように処理されますか。

(**分別した上で焼却施設やリサイクル業者に運搬し、処理される。**)

④この記事の時点で、「災害ごみ」にはどんな問題が残っていますか。30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

- (例)運び手がない高齢者住宅などでごみの片付けが終わっていない。(30字)
- まだごみが手つかずの世帯が1割ほどある。(20字)
- 大規模仮置き場には今も連日、ごみが運び込まれている。(26字)
- 処理済みのごみは全体量の一部(10分の1程度)にとどまっている。(23字) など

年 組 名前